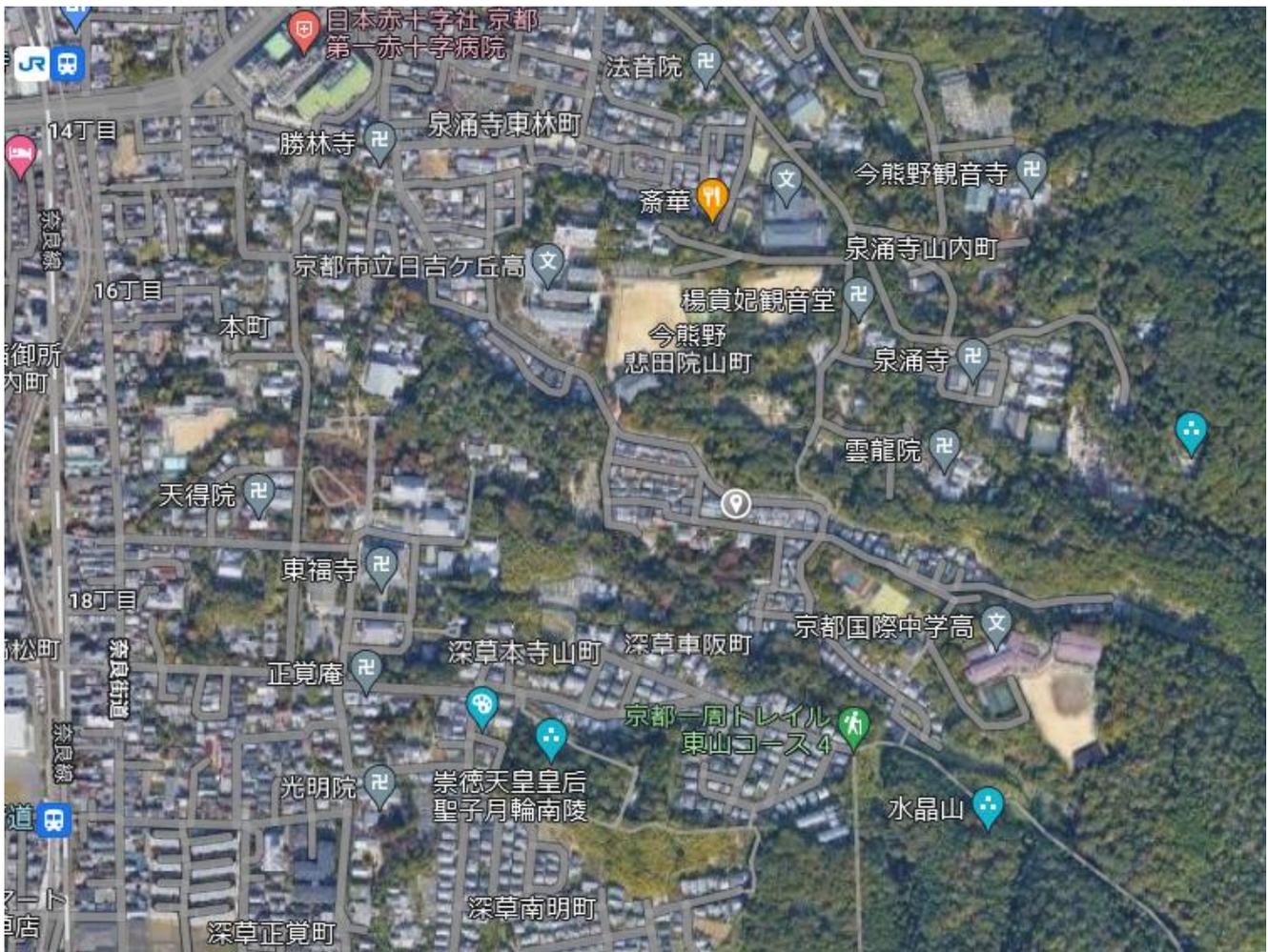


写真アルバムから

シリーズC 寺社華風月 (白黒)

C2 泉涌寺・東福寺 1974

森隆一



泉涌寺・東福寺 (Google Map)

C2. 泉涌寺・東福寺 1974

泉涌寺と東福寺は平安京の東南に位置し、両寺とも広大な寺域をもち、多くの塔頭を有する。泉涌寺は皇室との関係が深いということで、寺域は整備されている。東福寺には通天橋があり、紅葉時にはかなりの人が訪れる。しかし、清水寺や金閣寺・銀閣寺のように団体が、少なくとも当時は、いなかった。

行き方は、市電を乗り継いで、泉涌寺道・東福寺で降りるか、京阪で東福寺で降りて歩くかである。なお、東山線は1978年に廃止ということである。京都駅からは、国鉄で東福寺で降りることもできるが、東京と大阪を除いて、域内の移動に国鉄を利用するのは一般的ではない。

泉涌寺 1974

泉涌寺道から参道を東に進むと総門に突き当たる。ここから、泉涌寺の寺域が始まり、しばらくは塔頭が続く。

この参道の延長のような道を、しばらく歩くと大門に至る。大門より坂を下ると本堂などが見られる。

下の写真の左は、大門より仏殿を撮ったものである。右は、仏殿の横か

ら舍利殿を撮ったものである。



上の写真は、舍利殿脇から御座所を眺めたものである。

他の寺院では、仏堂・舍利堂であろうが、泉涌寺では御所や神社で用いられる殿が用いられている。これは、泉涌寺と皇室との縁の依るものと思

われる。

なお、建物名は Google Map に書かれているものを、そのまま、用いている。

次の2枚は総門から大門に到る道脇の塔頭を写したものであるが、何処で撮ったのか、同じ塔頭か別なのか、など全く覚えていない。





東福寺 1974

次の写真は東福寺の電停である。中央やや左上に写っている建物を正面から撮ったものが右の写真である。萬寿禅寺の門と思われる。

Wikipedia「京都市電」では、1978年10月1日に、残っていた、東大路・北大路・西大路・九条通りと東山七条と京都駅を通る市電が廃止され、京都から市電が亡くなった。



次の写真は Google Map から退耕庵ということである。



次の写真は通天橋である。



引き伸ばしたときは、狙ったことは出来ていて、まあまあと思っていた。
この時の写真は、下のベタ焼きからのものに近かった。今回これをトリミ
ングしてみたが、どちらがいいかわからない結果となった。



あとがき

泉涌寺・東福寺には市電でかけた。

1970年までは、市電と郊外電車と徒歩で、殆どの寺社を巡ることができた。バスでしか行けない主なところは、大原、高尾・梅ノ尾、大原野、山科南部程度である。また、1972年までは市電のほうが安かった。

知らない街では市電が重宝する。最大の利点は、全ての停留所に留まることである。加速減速も弱いので速度も遅く、道路の中央を走るの
で、風景も見易い。

京都市電は、1970年代に徐々に廃止された。Wikipedia「京都市電」から、まずは、1969年にトロリーバスが廃止された。これは、四条大宮と松尾大社を結ぶ路線であった。学生時代に松尾大社に行った記憶があるが、トロリーバスに乗るのが目標であったかもしれない。このあと、次のように廃止された。

1970年に伏見線と稲荷線

1972年に四条大宮-祇園、四条大宮-九条大宮、四条大宮-千本北大路

1974年に七条烏丸-烏丸車庫前が廃止された。

1976年に銀閣寺道-白梅町、天王町-円町、銀閣寺道-天王町

1977年に七条河原町-洛北高校前、七条河原町-西大路七条、京都駅前-七条烏丸

1978年に残りの全て

上に先立ち、1961年に、市電北野線が廃止された。